

本時のねらい

過去と未来の予定を、慣用句・ことわざ・故事成語を用いて説明することを通して、日常生活で実際に役立つ言葉であることに気づき、表現の幅を広げる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

スプレッドシートに予定表を示し、共同作業で予定表を完成させることに 1 人 1 台端末を活用した。班員の進捗状況と言葉の使い方を把握しながら、自分自身も言葉と向き合いながら課題に取り組むことをねらいとした。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレット端末 (iPad) ・Google スプレッドシート ・インターネット (Safari)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあて、学習課題について知る。 ○慣用句・ことわざ・故事成語がどのような意味や成り立ちをもつ言葉なのかを教科書で確認する。 	
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○慣用句・ことわざ・故事成語の一覧を見ながら、予定に合う出来事をスプレッドシートの表に埋めていく。 ○班員の記入内容に誤りがあれば、随時訂正する。 ○別の予定が思いついた場合は、表に付け足す。 記入例：・4月/入学式/「新しい学校生活に胸を弾ませている。」・5月/実力テスト/「蛍雪の功によって良い点が取れた。」・10月/修学旅行/「山の風景の美しさに目を奪われる。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員も共同編集者となることで、生徒の進捗状況や取り組み姿勢をリアルタイムで把握することができる。 ・一覧には使い方は載っていないため、言葉の使い方に迷った場合はインターネットも用いて調べることが可とし、適切に言葉を用いることを意識させた。 ・使い方を誤っている場合や入力ミスがある場合も気付いた共同編集者が訂正する。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○予定表の完成 (追加も含めて) を週末課題とし、家庭で課題に取り組む。 ○さまざまな言い回しを使うことの意味を、振り返り用紙に記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共同作業ではあるが、時間を合わせる必要がないため、自分のできる時間帯に取り組むことができる。 ・ねらいを達成させるため、改めて指示が必要な場合は、スプレッドシート上で教員から知らせることができる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子

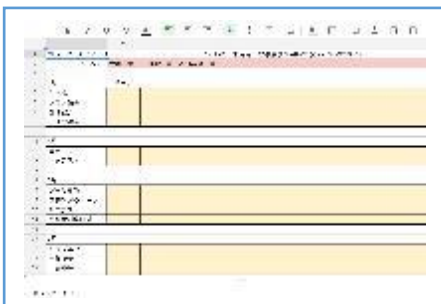


写真1：生徒に配付したスプレッドシート班ごとに割り当てて共同作業を行う。



写真2：資料を見ながら、スプレッドシートに予定を書き込んでいる場面。



写真3：共同作業で進捗状況を確認しながら課題を完成させているシート。

児童生徒の反応や変容

- ・語句に関して知識として覚えるだけでなく、慣用句・ことわざ・故事成語がどのような様子を表しているのかを考えたり調べたりしながら、主体的に語句を習得していた。
- ・共同作業で表にまとめる活動では、仲間の進捗状況が把握できるため、意欲的に取り組んでいる姿が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・ただ語句を覚えるだけでなく、カレンダーにするとという活動の中で実際の活用場面と様子を考えることで、語彙習得につながる。
- ・生徒にとっても個人での活動ではあるが、仲間と協力できる感覚をもつことができる。また、教員にとっても、生徒の取り組み状況を見て、声かけや語句の使い方への指導ができるので、リアルタイムで課題の進捗状況を把握したいときには非常に効果的である。